しまもり

令和元年度　　Ｎｏ．５
島守小学校　学校だより
発　行　　八戸市立島守小学校
発行日　　令和元年　９月　５日

感動できる子に

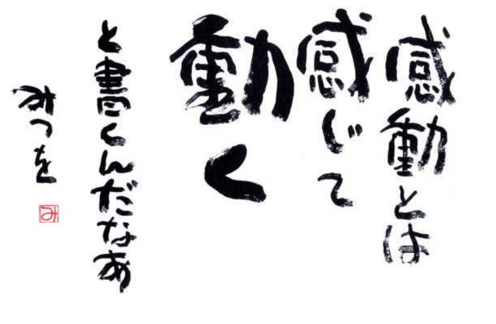
校　長　一　条　秀　雄

８月２２日(木)、最も長いの２学期が始まりました。始業式で、子どもたちと、元気に再会することができ、とてもうれしく思いました。今年の夏も大変暑い日が続き、生活するのが大変だったかもしれません。家庭での、ご注意、ご配慮に心から感謝申し上げます。

始業式では、３人子どもたちが夏休みのこと、２学期頑張りたいことについて発表しました。２年小山結香さん、４年村上琉奈さん、６年法靈崎愛來さんです。２学期の目標、頑張りたいことがしっかりと考えられていました。２学期の活躍がとても楽しみです。ほかの子どもたちもそれぞれのめあてをしっかり立てて、頑張ってくれると思います。

今年も１学期始業式で子ども達に出した宿題に、「家族のために何かする」がありました。始業式でそのことについて、子どもたちに聞いてみると、全員が家族のために何かしたと答えてくれました。料理、家の仕事、お手伝いをするなどよく頑張ってくれました。よい夏休みになったと思います。

私は、夏休みに博物館や美術館を観てきたことをお話ししました。特に、国立科学博物館の「恐竜展２０１９」のお話を興味深く聞いてくれました。また、**相田みつを美術館**で観た詩についてお話しました。**「感動とは　感じて　動く と書くんだなあ」**という短い詩です。**相田みつを**は本の中で、教育家 和田重正先生の言葉を紹介しています。



「まア、きれい！」
その朝、狭い庭に咲いていた、一輪の小さな茄子の花を見て、母は両手を広げて大きな歓声をあげました。
母の着物の袂にぶらさがっていた、幼いわたしは母の感動を、その袂を通して全身に浴びました。
それ以来わたしは、茄子の花の美しさに感動するようになりました。そのことが、私から子供へ伝わり、子供から孫へ伝わっていきました。
いまでは、初夏の茄子の花を見ると幼い孫までが、「わア、茄子の花！」と、歓声をあげるようになりました。
美しいものを見たら、素直に感動する人間に育てることが大切だと思います。
（和田重正）

「素直に感動する心」を持つ子どもであってほしいと思います。**みつを**は、「感動」を次のように捉えています。「感じて動く」とは、

- **感じたら具体的に動く。　　・動くのは自分**
- **しかも、それは、他から強制されたり、命令されて、しぶしぶいやいやながら動くのではありません。**
- **自分の考えと、自分の意思で、よろこびをもって積極的に動くことです。**

感動とは、「常に自分が自分の主役となって、イキイキはつらつ動くことだ」と述べています。そんな子どもに育てていきたいものです。

８月３０日(金)には、「複式集合学習」、９月１日(日)には「八戸市総合防災訓練」が行われました。また、これから学習発表会、収穫感謝祭の２大行事を始め、校内マラソン大会、八戸市陸上競技会、南郷地区合同発表会などの行事もあります。９月は、学習に、運動にしっかり取り組む時期です。教職員力を合わせ、精一杯指導して参ります。どうぞ、保護者の皆様、地域の皆様、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

南部藩ゆかりの都市との交流事業

８月９日(金)に「南部藩ゆかりの都市との交流事業報告会」に出席しました。この事業は毎年行われ、今年は６年生の佐々木佳華さんが島守小から参加しました。岩手県遠野市、紫波町を２泊３日の日程で訪問します。遠野の子どもたちとも交流しました。

遠野市とは、八戸根城のお殿様(女城主清心尼)が遠野に国替えとなったことからのつながりです。（八戸市内の書店では、「かたづの」という漫画が販売されていますが、清心尼がモデルです。画いているのは、漫画家の里中満智子さんです。原作は、中島京子さんの小説です。）紫波町は、江戸時代、八戸藩の飛び地の領地であったことからの縁です。（紫波町でとれるお米が、八戸藩の大きな助けとなっていました。）

佳華さんは、紫波町での体験を他校の友達と協力しながら発表しました。体験した「そば打ち」の様子をを劇とナレーションで発表しました。

えんぶり（その５）

昔の暦は、月の満ち欠けで作っていました。新月から次の新月までの約29.5日を１ヶ月としていました。１ヶ月が29.5日だと一年は354日となり、11日少なくなるので３年に一度、1年を13ヶ月としました。

昔の暦ですと、だいたい15日が満月の日となりますので、１年で初めての満月の日である１月15日は豊作を祈る日でした。家の中には、ミズキの枝に餅をつけた「まゆ玉」、笹に餅をつけた「粟穂（あわぼ）」を飾りました。庭の雪の上にワラを植える「雪中田植え」、家の回りに米ヌカをまく「ほがほが」など、豊作を祈る行事がたくさんありました。島守でも、ほとんどの家で行っていました。

えんぶりも藩日記を見ると毎年１月15日に行われており、もともとは小正月の豊作を祈る行事だったことがわかります。現在の２月17日からとなったのは明治43年からで、伊勢神宮の豊年祈願の「年ごいの祭り」にあわせたと言われています。

南郷歴史民俗資料館　古里　淳

9月の行事予定

1（日）　八戸市総合防災訓練
3（火）　南郷陸上競技場練習日
　　　　動物ふれあい指導（1年）
　　　　生活科まち探検(2年)
5（木）　第２回地学連協　ALT学校訪問日
　　　　委員会活動
6（金）　市内陸上競技会(5・6年)
　　　　移動図書館
10(火)　市内陸上競技会予備日　食育教室(2年)
11(水)　授業研究（５・６年）
　　　　地域密着型教育ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修会
12(木)　島中壮行式参加（5・6年）　ALT
13(金)　水泳教室
17(火)　SC来校
18(水)　自由参観日　マラソン大会
19(木)　クラブ活動 ALT
20(金)　水泳教室
22(日)　南郷体育祭
23(月)　青森卓球選手権大会
24(火)　集金日
25(水)　交通安全キャンペーン
26(木)　クラブ活動　ALT学校訪問日
　　　　全校稲刈り(10:30〜12:00)
27(金)　代表委員会
　　　　市内小学校お話弁論大会
30(月)　前期通信票配付

発明くふう展

夏休みの課題としてやってきた工作作品の中から「八戸市発明くふう展」に出品したところ、多数の入賞者が出ました。これも本人の発想・努力、保護者の協力、先生の指導が一体となった成果だと思います。おめでとうございます。

【入賞者一覧】
青森テレビ社長賞　**古里優心さん**（２年）
金賞　**長瀬天道さん**（２年）
　　　小山結香さん（２年）
　　　角金一颯さん（６年）＊以上**４名**は県の審査に出品
銀賞　門前悠人さん（２年）
　　　田名部魁さん（６年）
銅賞　小山碧久さん（２年）
　　　岩織二虹さん（２年）
　　　門口穂子さん（２年）
　　　舘　悠介さん（４年）
　　　小原愛夢さん（５年）
　　　佐々木佳華さん（６年）
エコ賞　前川原　新さん（５年）
　　　　法靈崎愛來さん（６年）

「じゃぐちふやすぞう」優心さん→

第44回複式集合学習

8月30日（金）に八戸市東体育館で、年に一度の複式集合学習が行われました。市内７校の複式校１５７名が東体育館に集まり、赤白青の３チームに分かれて（島小の子供たちも赤白青３チームに分かれました。）、ゲームや競技を楽しみました。普段接することのない他校の子供たちと友達になれたり、小規模校ではなかなか経験することのできない大人数での活動を楽しみました。高学年の出番の時は、学校の垣根を越えて自分の組を応援する低学年の姿が見られたり、お昼にはお弁当を他校の新たにできた友達と楽しく食べたりして、友達の輪を広げることができていました。

今月の SC

今月スクールカウンセラーの嶋野先生が来校されるのは、１７日（火）の１１：２０〜１４：２０です。カウンセリング希望の保護者の方がいらっしゃいましたら、学校にお電話ください。